

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業について

1 交付金の概要

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図ることを目的として創設

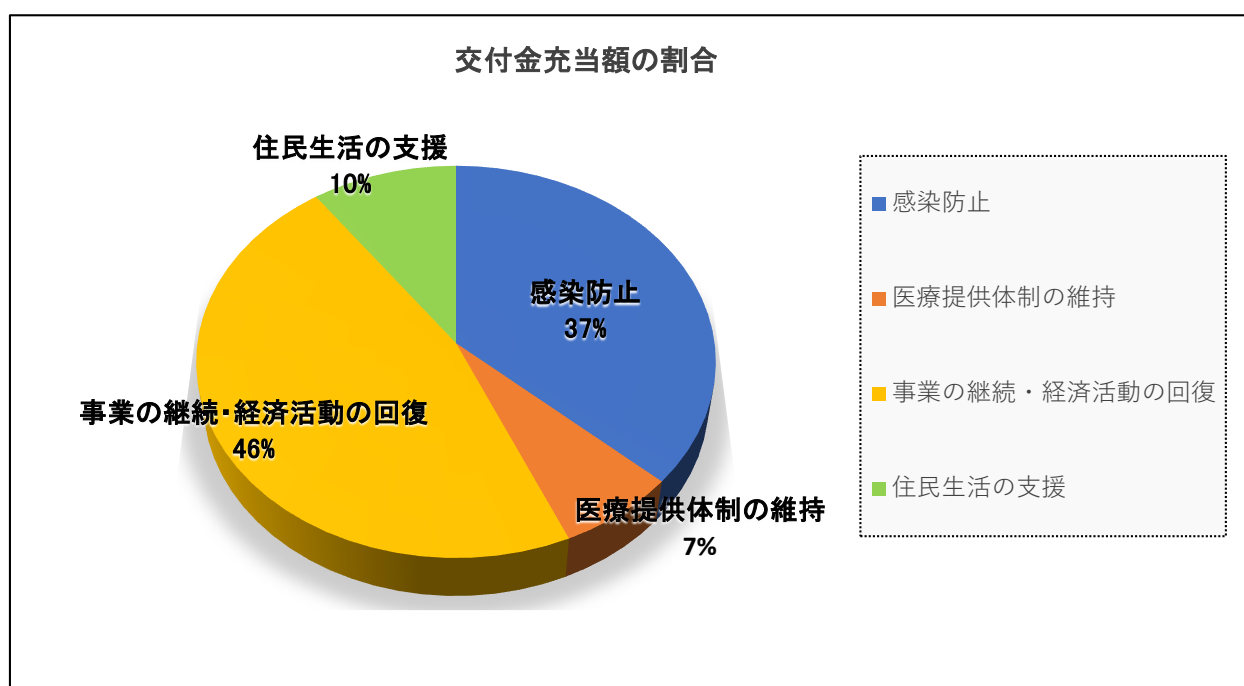
2 本市の交付額

令和2年度 451,908千円

3 事業の実績

(単位:円)

事業の種別	事業数	事業費	交付金充当額
感染防止 (第2波・新しい生活様式への対策金 等)	25	177,700,136	165,496,000
医療提供体制の維持 (インフルエンザ予防接種促進事業 等)	3	39,674,692	30,997,000
事業の継続・経済活動の回復 (事業継続応援給付金、新型コロナ対策消費喚起型商品券販売助成事業 等)	11	262,463,895	210,587,000
住民生活の支援 (妊産婦応援給付金、臨時休校に伴う学習支援事業 等)	10	51,491,507	44,828,000
計	49	531,330,230	451,908,000



4 事業の評価

事業効果	効果	コロナ禍に対応した地方創生に効果があった
	理由	令和2年度においては、4億5,190万8千円が交付され、49の事業に活用した。これにより、感染拡大の防止や地域経済の維持、住民生活の支援につながった。
今後の方針	方針	事業の継続
	理由	令和2年度においては、アフターコロナを見据えた地方創生に重点を置いた事業を実施できなかった点が課題として残った。 令和3年度においては、引き続き感染拡大防止及び経済対策を講じる事業を実施するとともに、地方創生を推進する事業を展開し、地域経済を活性化させる取組みを実施していくことが重要と考えられる。
外部有識者からの評価	事業の評価	有効であった
	外部有識者からの意見	コロナ禍の影響を受けている事業者は多いと思うので、今年度もしっかりと応援していただきたい。 今はその対応で手いっぱいだと思うが、給付金の検証が可能であれば必要だと考える。